

『日米交流音楽会（前半）』

（2023年3月放送）

MC：○ この放送をお聞きの皆さんこんにちは。『防衛問答近中でごさる』、この番組は防衛省近畿中部防衛局の協力によりお届けします。本日は、前回の放送に引き続き、近畿中部防衛局地方協力確保室のA室長にお越し頂きました。A室長、よろしくお願いします。

A：○ 皆さんこんにちは。近畿中部防衛局のAです。今月もよろしくお願いします。

MC：○ 前回の放送では、Aさんから日米交流事業のお話をお聞きしました。米軍経ヶ岬通信所が所在する京都府京丹後市における米軍と市民の皆さんとの文化交流やスポーツ交流、米軍独自のボランティア活動など多岐に亘る活動をご紹介下さいました。

○ その中で新型コロナ禍以降初めてとなる「日米交流音楽会」が開催されるというお話がありました。本日は、その模様をお聞きできるということで楽しみにされていたリスナーの皆さんも多いことと思います。私もとっても楽しみにしていました。それでは、早速、ご紹介下さいますでしょうか。

A：○ はい。ただ今、MCさんからご紹介がありましたように、「日米交流音楽会」を2月19日の日曜日に京丹後市の京都府丹後文化会館で開催しました。新型コロナ禍以降、初めて約3年ぶりの開催となります。お陰様で多数の皆さまにお越し頂きました。

○ 今回の「日米交流音楽会」の開催に当たりましては、新型コロナ感染防止対策に十分配慮し、会場の入場定員約800名に対し、入場者を半分の400名以下とすることやマスクの着用、アルコールによる手指消毒を徹底するなどの対策を講じました。

○ また、これまで米軍軍楽隊、地元丹後吹奏楽団以外に中学校の吹奏楽部やモダンバレイ団にご出演頂き共演してきましたが、今回は新型コロナ感染防止の観点から関係者数を抑えるため、出演者は米軍軍楽隊と丹後吹奏楽団のみとなりました。

MC：○ 全国的に新型コロナの感染者数は、減少傾向にありますが、まだまだ終息した訳ではなく、不安が尽きないところです。特に、「日米交流音楽会」は、多くの方々が集まる場ですから、開催にはさぞかしご苦労されたことと思います。

A：○ そうですね。全国各地で様々なイベントが再開されていますが、まだまだ全開という訳にはいかないみたいですね。私たちも、お集まり頂く皆様が安心できるよう、感染防止対策にはとても気を遣いました。

○ それでは、当日の演奏を録音してきましたので、今月と来月の2回に分けてこの放送でご紹介したいと思います。今月は、第一部の丹後吹奏楽団の演奏をお聞き頂きます。

○ その前に、まずは今回ご出演頂いた丹後吹奏樂團をご紹介させて下さい。

MC : ○ お願いします。

A : ○ 丹後吹奏樂團は昭和63(1988)年、京都国体の式典演奏をきっかけに地元峰山高校や網野高校の吹奏楽部OBを中心に設立されたアマチュア樂團です。今年で設立35周年を迎え、「日米交流音楽会」には、平成28(2016)年6月に開催した第1回から連続して毎回ご出演頂き、地元の皆さんもとっても楽しみにされています。

○ 丹後吹奏樂團は丹後地域では初の社会人バンドとして結成され、式典やイベントなどの依頼演奏や年一回開催の定期演奏会を中心に活動し、近年では吹奏楽コンクールにも出演しています。

○ 団員の皆さんは京丹後市だけではなく、与謝野町や宮津市、福知山市からも練習に参加しており、経験年数も年齢もバラバラですが、演奏を楽しむことを第一に活動されています。

○ 団員の皆さんは、自分たちが音楽を楽しむことをモットーにしながら、更に人に聞いて貰えるともっと音楽を楽しめるじゃないか。そしてその演奏を聴いてくれた人をもっと楽しい気持ち、嬉しい気持ちにさせてあげることができれば最高じゃないかとの思いで活動され、日々地域の音楽文化普及に貢献されています。

MC : ○ 素敵ですね。自分の好きな音楽を楽しみ、更にそれを聞いてくれる皆さんをもっと楽しい気持ち、嬉しい気持ちにさせてくれる。地域に溶け込んで本当に素晴らしい活動をされていると思います。 がく

A : ○ ちなみに余談になりますが、中国では音楽の「楽」という漢字は、もともとは「音楽」という意味で使われていたみたいですね。それで音楽が人に喜びを届けることから「音楽」そのものが「たのしい」という言葉の語源になっているそうです。

○ 余談ついでに、MCさん峰山高校と聞いて思い出される有名人はいませんか。

MC : ○ 確かプロ野球の野村克也監督の母校だとお聞きした覚えがあるんですが。

A : ○ 正解！よくご存じでしたね。峰山高校は、プロ野球でパリーグ初の三冠王となり、数々の球史に残る成績を残し、監督としても南海、ヤクルト、阪神、楽天の監督を歴任し、ヤクルトスワローズを日本一に導くなど球史に輝かしい功績を残した野村克也さんの母校として有名です。

○ 野村監督は京丹後市網野町の出身ですが、網野町のアミティ丹後には、野村監督の輝かしい業績を記念し、野村克也ベースボールギャラリーが開設されています。

○ ギャラリーには、野村監督が現役時代に打ったプロ野球で王貞治選手に次いで歴代2位となるホームラン数657本にちなんで657個の野球ボールが飾られ、数々の受賞トロフィーや懐かしい現役時代の写真パネル、実際に着用

したユニフォームなどが多数展示されています。入場無料でどなたでも見学することができます。

- 近隣には鳴き砂の浜で有名な琴引浜、夕日が美しい夕日ヶ浦海岸や温泉もあり風光明媚な景勝地となっています。この放送をお聞きの皆さんの中で興味を持たれた方は、是非、一度行かれてみてはいかがでしょうか。

MC : ○ 夕日ヶ浦温泉といえば冬の松葉蟹料理が有名ですね。温泉で温まり、美味しい松葉蟹を頂く。考えただけで行ってみたいくなりました。(笑)

A : ○ スポーツつながりついでにもう一つ。網野高校は、レスリングの強豪校として知られ、アテネと北京五輪で銀メダルを獲得した伊調千春さんをはじめメダリストを輩出し、霊長類最強女子といわれた吉田沙保里さんも当地で行われた強化合宿に参加しているんですよ。

MC : ○ 伊調選手といえば妹の伊調馨さんと揃って姉妹揃ってオリンピックでメダルを獲得されましたね。私もテレビ中継を見ながら一生懸命応援したことを覚えていますよ。

A : ○ 少し前置きが長くなりましたが、いよいよここからは「日米交流音楽会」第一部の丹後吹奏楽団の演奏をお聞きます。

- 指揮を執られる先生は、京都市出身で京丹後市立大宮中学校教諭を経て、平成10年頃より、音楽教育専門誌、研究書等での執筆活動及び実践発表、教材開発を展開し、平成12年文部省教員海外派遣団としてオーストラリアに渡り、オーストラリア州カディナ高校で教鞭を取られ、平成18年度京都府優秀教員表彰を受賞されています。

- 地域においては、丹後文化芸術祭吹奏関連事業推進委員長、丹後吹奏楽団音楽監督、指揮者、峰山木曜コーラス指導者、久美浜児童合唱団指揮者、舞鶴市吹奏楽連盟主催アンサンブルコンテスト審査員など幅広く活動されています。

- 本日は、当日会場で収録した音源をノーカットでお送りします。客席内で直接収録しましたのでお聞き苦しい箇所があるかも知れませんが、何卒ご容赦の上、当日会場にお越し下さった皆さんと同じ臨場感をお楽しみ下さい。

- 演奏する曲目は、昨年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」でアメリカ生まれで日本在住のエバン・コールさん作曲のメインテーマを皮切りに、2022年の吹奏楽コンクールの課題曲「サーカス・ハット・マーチ」、タイトル通り、サーカスのような展開の速さが面白い「おしゃれで愉快的」マーチとなっています。続いて、2004年の一青窈さんのヒット曲「ハナミズキ」、皆さんも耳にされたことがある「ディズニー・マーチ」、「ポケモン・スカーレットとポケモン・バイオレットのメインテーマ」、ハリウッド映画で流れたテーマ曲のメドレー「ハリウッド・マイルストーンズ」などどれも馴染みの曲ばかりです。

MC : ○ お待たせしました。それでは皆さんお楽しみ下さい。

♪♪日米交流音楽会第一部・丹後吹奏楽団の演奏♪♪
(演奏時間約45分)

(完)